

令和3年度第5回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和3年11月8日(月) 午前9時57分～午後0時2分
- 2 場 所 議会棟第1会議室
- 3 出席委員 高田委員長、濱西副委員長、貝原委員、栢野委員、杉本委員、藤田委員、松井委員、光岡委員 (欠席:岸委員、中塚委員)
- 4 出席職員 (市民協働局)藤井次長、奥野参事監
(女性が輝くまちづくり推進課)安東課長、藤原担当課長、繁定課長補佐、神崎主査
- 5 傍聴者 なし
- 6 次 第
 - (1)市民協働局次長挨拶
 - (2)議事
 - ①第5次さんかくプランの策定について(資料1)
 - ②「第4次さんかくプラン」年次報告(令和3年度)について(資料2)
 - (3)その他
- 7 配付資料
 - 資料1 第5次さんかくプラン素案
 - 資料2 第4次さんかくプラン年次報告書(令和3年度)(案)
- 8 会議の状況
 - (1)市民協働局次長挨拶
 - ・前回会議では、第5次さんかくプランの素案について多くのご意見をいただいた。また関係各課からも意見をもらい、それらの内容を踏まえて修正を行った。本日はその案についてご審議・承認いただき、今後は11月定例市議会の委員会報告をした後、パブリックコメントを実施する予定である。
 - (2)議事
 - 議事①** 第5次さんかくプランの策定について
 - 説明内容
 - 資料1について事務局から説明。
 - 意見等
 - 今後のプランに対する要望として以下の意見があった。
 - ・「計画の位置付け」に関連する法律があがっているが、男女雇用機会均等法も関係する重要な法律だと思う。
 - 男女雇用機会均等法も関連する法律であるが、ここで挙げている法律は国で自治体が計画を作ることとしているものを記載している。
 - ・男性の働き方については企業に対する啓発が重要である。
 - 家事・育児分担が進まない原因は、男性が早く帰宅できないからだと考えている。男女ともにワーク・ライフ・バランスを進めていかないといけない。
 - ・ファミリーシップ証明について記載してほしい。
 - ・男性の産休が認められるようになった。指標として追加してほしい。

- ・「子どもの世話・教育・しつけ」の「世話」という表現がもう使わない。「育成」や「養育」などに変えた方がよい。
- ・「幼児期からの男女共同参画の視点を入れた学習の推進」で、保育所・幼稚園・認定こども園があがっているが、障害児施設もあるので「等」を入れてほしい。
- ・教育支援金、修学資金等制度があるがあまり活用されていない。次期プランでは記載してほしい。
- ・市職員の育児休業取得率を記載しているが、一般市民の取得率について載せてほしい。
→市では率先して取得を進めるという意味で市職員の取得率を載せているが、市内企業等に調査しておりこちらについても把握していきたい。
- ・男女別の議員数なども載せて、女性議員が少ないことを市民に知ってもらいたいと思う。
- ・働き方をどうしていくかというのは課題になっている。小さな企業はなかなか難しいと思うが、その必要性を市から訴えていくことが大切ではないかと思う。

議事②「第4次さんかくプラン」年次報告(令和3年度)について

○説明内容

資料2について事務局から説明。

○意見等

[重点目標1]

- ・コロナの影響で講座等が開催できていないため、全体的に「目標値を達成しておらず、評価できない」という表現が多いが、いかがなものか。表現を考えた方がいいのではないか。
- ・オンラインを重点的に行うなど、知識を持ってもらうための集まる以外の方法を考えていかなければ、という表現がよいのではないか。
→それぞれ達成できていない理由があるので、単純に評価できないという表現ではなく、他の表現を考えたい。
- ・インターネットの利用について、親の教育が大事だと思う。学校やさんかく岡山などで、親の教育をしないとパーセンテージが上がらないのではないか。

[重点目標2]

- ・指標Fで「SNS等に起因する性暴力等に関する啓発を進めていくことも必要である」が、今は電話だけでなくSNSや、年齢層も幅広く対応する必要があるかと思う。

[重点目標3]

- ・指標Hについて、「全体と女性は低下傾向にある」とあるが、このグラフを見ると全体的に低下傾向にあると表現したほうがいいのではないか。
→ご指摘のとおり。修正する。
- ・健康診査の受診率が高いが正しいのか。
→市民アンケートでの回答結果である。働いている人は職場で受けるので、このようになるのではと考えている。オプションの子宮頸がん検診などは受診率が落ちるが。

[重点目標4]

- ・指標Kについて、男性が担う家事・子育ての割合でみると男性もやっているように見えるが、時間で言えば女性の方が何倍もやっている。次回からは時間で聞いてほしい。
- ・指標Jについて、「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合は、年齢によって結果に差があるので、次から年齢別に示した方がいいのではないか。
→第4次プランまでは、毎年アンケートを実施していたが、1年で大きく変わるものではないので、第5次さんかくプランでは、5年で調査を考えている。
- ・5年間隔は妥当かもしれない。指標Lについて、お茶を出すのは女性というのを指標にするのはどうかと思う。

→第4次プランでは成果指標としてこの項目を使用しているのでアンケートは取り続けてきたが、5次ではこの項目は廃止して、代わりに「男女のどちらが働いても家事、育児をしてもよい」という考え方に肯定的な人の割合を使用する予定。

[重点目標5]

・指標Nについて、同じ外国人でも学生、労働者、どんな仕事をしているかによって意識が全然違う。実態を把握するためにも対象を幅広くすることを考えてほしい。

・外国人に住み続けたいかを問うのは、男女共同参画が進んでいるから住みやすいという主旨なのか。

→第4次プランでは「岡山市に住み続けたい外国人の割合」と成果指標にしていたので質問をしていたが、外国人が住み続けたいまちづくりに関する施策については国際課の多文化共生プランでカバーしており、男女共同参画に関するプランには必要ないだろうとの判断で5次プランからはなくす予定。

・さんかく岡山での外国人との交流などはあるのか。

→最近はあまりない。

[重点目標6]

・登録団体でないとさんかく岡山の講演など参加できないのではと思っている人も多いようだ。趣味の団体でも登録は可能なのか。広報ができていない気がする。

・DUOを使うといいのでは。

→男女共同参画に理解があれば可能である。広報については検討したい。

[重点目標7]

・目標⑩について、保育所等の整備で待機児童数が減ったのは確かだと思うが、今年はコロナの影響が大きかったのではないかと思われるので、そのことも記述したほうがいい。

[重点目標8]

・専門委員会として評価を書くにあたり、客観的に岡山市の状況が分かるように、他の政令指定都市との比較ができるようなデータがあったほうがよい。報告書全体に言えること。次回から何らかの改善をしてほしい。データを比較するのは本当に難しいことだが、データに基づき分析する方向へ進んでほしい。

→他の政令指定都市と統一的な調査をしていれば比較が可能だが、それぞれの都市で独自の調査をしているのでそのようなデータを取るの難しいのが現状であるが、国が公開している調査結果などで政令市の比較ができるようなものがないかという視点をもって今後取り組みたい。

[重点目標9]

・指標Uについて、町内会長の女性割合は下がっており、前回から10人くらい減ったことになる。これは横ばいではなくさらに低下していて深刻な状況という書き方にしてほしいところだが、せめて明確に低下しているという表現にしてほしい。

[その他の意見]

・広島市の第3次男女共同参画基本計画では、市が補助金を交付する団体における男女共同参画を促進するために、働きかけを行うことを明確に書いている。第5次プランでは、補助金要項に男女共同参画について記載することになったが、とても大事なことなので、広島市のようにさらに進めてほしい。

→女性にも町内会長になってほしいと思うが、役員を選出はそれぞれの町内会で決めることなので、市からどこまで言えるか難しい。

(3)その他

・次回(第6回)開催予定→1月21日(金)15時～。場所等については後日連絡。